



入信

學名刺快語
下

~ 13
1.8/2



門へ 13
紙 1313
巻 3

前月里物

後本 第四回

後本

ふりかへるものよ 新官よりりぐるる

浄池町乃をけもの夏

狐をびをらふ事

うらめしの年とくかあらびをらるる

はねのの悪業と死してわらひる

無縁よあわじ吾人のもめをらるる

女乃まき神んおそりき事

産頭あはぬらるる合度

年まき人つらがる事

おそらるるあひちるる

十 九 八 七 六 五 四 三 二 一

同

巻四

そりり そのりり そのりり そのりり
曾良里物 そのりり そのりり そのりり
積を そのりり そのりり そのりり
舟 そのりり そのりり そのりり

一

尾張のふあつ田のやねよこひとすそそふ
 ひろたきくうふのまららばさう海に地行
 さうまーまにの歌とほららめ二曲とて
 わりおけすうらまそひゆるけう海と一町
 おうらまそんやうさうわくこわあさうら
 こあみの身はさうらうとあうらけうらま
 かりつさぬがとてんまをせしまおとよう
 ちんは一門らんそあひまらなはさあめじ
 ねされさうらあかに志んさうそあのも
 うけさうあうらとあうらさうまおこ
 初うらうらおしそのち船さうらうら
 うらうらうらうらうらうらうらうら



尾張のふあつ田のやねよこひとすそそふ

浪速書舖 田中宋榮堂藏版目錄

大坂心齋橋通安堂寺町
秋田屋太右衛門

法橋寺島良安編
和漢三才圖繪 全十冊

春秋列國圖 全一枚

唐明詩學聯錦 袖珍部分全

同續聯錦全 同續聯錦全

唐宋詩語類苑 中本四冊

四季十二月二分天時令人事草木鳥虫時景物等之異名熟字詩語韻楚上下二段互見也又詩格正編平仄之圖式五七絕句律詩索引等之注初字之詩課便之

詩韻含英 中本四冊

同異同辨 同四冊

內閣秘傳字符 全

同 頭書 二冊

其昌滕王閣 行書大字 二冊

同 征途帖 同中字 全帖

同 千字文 同中字 全帖

義之十七帖 全帖

隸 辨 大本二冊

唐本翻刻ニテ卷首ニ畫引ヲ附シ隸字九千余頁ヲ書ス隸字ノ大全ナリ

詩法掌韻 小本五冊

古文前集	一冊	五經	道春点	十冊
古文後集	二冊	同新刻	閻齋点	十冊
三體詩	三冊	同		十冊
管子全書	十三冊	韋注國語	千葉校正	六冊
同甫正	二冊	同新	版	六冊
同箋注	二冊	同增	注	八冊
四書	道春点	同明道本	冢注	六冊
校正四書	道春改点	國語定本		六冊
	十冊	同畧		四冊
		孔叢子		三冊
		同增		五冊
		增補長曆頭書		一冊

世三多用元所四書八点假名繁クテ恐クハ
 童蒙素読クテ宜シカラシ今此四書ハ從前
 諸書ヲ以テ点假名考テ諸先生議リ謬誤
 改テ聲音ヲ正シ專ラ集註趣意ヲ主トシ繁雜
 假名ヲ刪リ簡要ノ点ヲ附ス○凡此ノ其之說
 也或シ類ハ假名ヲ下シテ辨別ス餘ハ准知ルニ由テ
 校正ノ二字ヲ加フ
 世三四書假名ハ或ハ百字差違板
 此為ニ遊下ヤル

四書	片假名附	小本	三冊	左傳	鰓	全三冊
同	卷懷形		三冊	晏氏春秋		五冊
同	白文	中本	四冊	陶淵明全集		四冊
春秋左氏傳	安永板		十五冊	學山錄		四冊
同	寬政新板		十五冊	古今名詩選		一冊
同國字解			十冊	五雜俎		八冊
同國字辨	尾州 加藤著		十五冊	楚辭證		四冊
校本左氏傳	秦鼎		十五冊	柳韓文		五冊
同助字法			三冊	韓文起		十冊
同考	小本		三冊	文語解		五冊
同杜解甫正			三冊			

大典禪師ノ著述ヲ虚字實字助語字等ノ
 同訓異義ヲ注解シ弘ク字義ヲ知ルノ書ナリ

校本古今集 蓮阿師校 二冊

此書本文ハ斐仲加藤翁不居との云一
並めつ本よりて首云ハ右三條の記を以
げ古学の脚とせり古今集註本の音程

古今集註本ハ 三冊

古今和歌集の注解一神ひちて孫ひの
等の改まを神をひして改めりて今
多なり俗説を以て注しれハ見女幼童
にも云の考を知りてひかまらるるあり

冠 辭 考 真淵大人著 十冊

和歌の枕詞をあらうえとかさくこの和書
五十字に次者して注釈加し

冠 辭 考 續 秋成大人著 七冊

右冠辭考よりれつをあらうえ

和 歌 題 字 手 引 草 伴資規大人著 全

此書ハ和歌四季恋歌の題字をいれりて
初の人ハ和歌をいれりて後をいれりて
いれりて後をいれりて後をいれりて
後をいれりて後をいれりて

桂百人一首 一冊

類葉百人一首 一冊

湖月百人一首 全一冊

卷首ハ高野山の本を在女諸君も業あり
一代の才女を以てて禮式法文中久業
の注和歌よりて五節の由来年中以事
注釈源氏香の女名也一法礼園式小
形三十六歌仙歌歌仕五等一志力
むつ男女お世を外口用ま室の
集め古今和歌集の傳本迄妻し出せり

女文會百花選 全一冊

女中四季用文書歌道の達人和漢貞女國傳本
於女風俗琴三味人琵琶の注解和歌の中葉百人
のよきそそ後流の分日日本年中仍事以古女
学刻尚流あつけ方三十六歌仙名名名和歌離
首のの分海日本賢女道女中八系讀いれりて
繪抄外七々新号を女いれりて
室のの教多集めま女のがりて百人
一首の大さり

和歌新吳竹集 詞寄 二冊

同 二聖集 二冊

万葉集中人丸赤人の号をえりて出
の傳を考へ考へり

万葉集類葉抄 二冊

万葉集中の三十一の号をえりて出
類型して古辭をえりて人のあまたり

紫文消息 一冊

源氏物語の風体中ひりて号文を好めり
はかよりて作文の力を治す

字法不物語 三冊

歌道人物志 七冊

古今の人号よりて名を知れり官家武人
女史歌門地下の人流ハりての世にまの人の
あてりての号をえりて探集をえりて或ハ改
の娘 漢波ハ
我ハ神ハ夕子に足ぬの手よりて沖石の漢波
とよめれお人の状を考へり後考の初

浪華百人一首 一冊

紅梅百人一首 一冊

雙葉百人一首 一冊

百人一首碁箭抄 二冊

梅枝百人一首 一冊

古今百人一首 一冊

花陽百人一首 一冊

百人一首圖繪 三冊

田山散儀大人の考百人の系必書傳よ歌の
注の意を圖に別りて歌に於れをいれり
史女たりとも一史よりてさハ号の公を
作しをりてかたはれも名承古歌を
又りの加かたり

女學則探鑑 教訓獲方 一冊

天保用文章

一冊

高人日用書狀箱

一冊

同 新板 就章堂筆

一冊

同 增補大全

一冊

諸通文鑑

一冊

當用子習狀

一冊

早見 案文

一冊

專玉古狀掬

一冊

繪 消息十字文

一冊

此書ハ古状文集ノ入ルニ文字ノ少クハあつた
ハ依ルテハ此書ノ字ヲ多クシテ之ヲ改メ
テ又案文自註ト出来ル面ハ多クテ之ハ
早見ノ合ハ紙一條字引案文ハ一冊ニ

女文章大全 全一冊

此ハ女人日用ノ文ノヤリテ之ヲ集メ
テ其ノ様ニ先祖ノ法ヲ或變テ之ヲ
著ルル事ヲ早見ノ記ノ如ク之ヲ
又述妻ノ集メテ之ヲ

女今川姫小松 一冊

教訓百ヶ條入三十六歌仙繪抄漆物仕方
物々ト一燈礼壽婦ノ名生髮並ニ
ノ古実妙宗秘傳甚物名香源氏香ノ
外キ女傳記々々ノ調法救多あつ

女早見案文 小本 一冊

此ハ大全ノ多クハ極同トシテ之ヲ
小々ナリトシテ之ヲ早見ノ内
一冊利トスル也

玉あそび 一冊

目ノ四

庭訓往来 假名附

一冊

全 御家流 玉置筆無点

一冊

明 衡 往来 無点 假名附

各一冊

和 漢 朗 詠 集 無点 假名附

各二冊

大 密 朗 詠 集 頭 書

二冊

增 補 大 密 朗 詠 集 頭 書

半紙本 二冊

本文云々付并 此等ノ作者ヲ記シ
法孝以ノ爲消息往来七ノ形等
字院文子刑案文年中行事ノ古
所ハ系ノ詩書夜評選ノ人物圖
クハ一ノ形本字ノ字ノ多ク集
新童子往来万密大全 大本 一冊
庭訓往来古状探商賣性来子習状
孝子教小々其外重宝ノ事救多集
め童子初學ノ便ナリ

嫁入談合柱 全一冊

此書ハ嫁入一式ノ事ヲ記シ
如何ト通結納ノ取キ真若行
を分チ之具其物ノ以身日席上
礼式盛ノ甚礼物ノ付ノ仕
形製斗包ノ形近ニ

森羅万象要字海 大本 一冊

玉海節用字林蔵 同 一冊

大會節用文字選 同 一冊

右三部ノ字引節用ノ大全ナリ
萬會節用百家選 同 一冊
大冊ノ節用世多ク
ノ誤リナリ
通文書ノ上中下
和漢名家ノ傳記
西人物圖其外
爲ノ世人

新童子往来 無假名 一冊

同文政新版平假名附 一冊

出世塵功記 一冊

近道塵功記 一冊

算法出世寶 一冊

初公の人作匠をりてては商賣をりて
よりりては是をりてん功記なり

算法指南車

同 大全

此書ハ八算より見一用平用立升との
類より比してひるせよふ近知四の令
浪者位立本外算術の法も妻
しくわんて是事もはりてくたたる
重宝の本なり

武人訓 一冊

文林節用筆海大全 大本 一冊

世俗通用の筆札中下の習文或は習文を認む時
即生て之をりてては一通りの中より選りて
是且年始の教八編入はの部よりはりて
改去不用正字のりて改教多き書札はり
文字憶忘の急索し便りて其外亦乃の費用
に備ふたれの本なり

同 小本 懷中必
用 一冊

倭節用集悉改大全 一冊

此倭節用ハ京師倭時通尚の作りてては音
訓を正加後季厚去人りてりて今古異同を按補
一雅俗の文字はりては増益一和漢の山川名
三郡の集四訂武鑑並勇將氏臣畧傳諸礼
のりて料程の紙立而官名改其外世俗需用
のりて夥しく集めたる大冊は其の節用なり

同 増補大全 一冊

右倭節用ハ武將傳三世相干外數系を
増補ハ大なる大成の本なり

大福節用萬寶蔵 萬會 一冊

繪本武者兵林 三冊

北尾雪玩齋の考しりて神后皇宮より以未
の名將勇士の高名ありては國一且唐七の
英雄まをを集りて其傳を附ハる繪
本なり

畫 英 狩野家隨一の繪手本也 六冊

畫 寶 同断 六冊

盤桂臼挽哥 一冊

月菴法語 一冊

かむむくら 白隱法語 一冊

盲按杖 一冊

此書ハあつたるをりて一四の教戒を示りて
一休なり

生花千筋麓 三冊

東都醉花齋宗匠一家の流行りては生花
のそとまはるる生方指南花居の礼儀本
教系を出一門人一切然りて授せり
秘の口訣を残し以所ハる初生花の本也

大橋宗桂先生著

將碁圖式 二冊

此書ハ先生秘傳の妙をりて作られ
たる法碁集なりて初分ある人のりて
るもすらすら上達するの奇也なり

萬物故事要畧 大本 四冊

本朝神代漢武代々帝王士臣ノ事実ヲ論ニ年中
行事ノ采由其外四民世用ノ業事通俗ノ諺
スベテ世ニ知ガタキ一ノ故実ヲ注釈ニ節用ニ無
キ文字ヲ千余字集メ出シ事物ノ故事ヲ
記シタル博學ノ君子タリトモ坐右ニテ耻
ザルノ書ニテ而モ國字ヲ以テ注シタル童
蒙ニモ讀安キ故事大全ナリ

一休なり

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

曾呂利狂歌噺

三冊

曾呂利新在り諸事世歴して古伝は撰り
詠りながら奇詠諧まゝ其古伝の物の傳記を
注し女を鬼とて洗風り家とて其傳記を
有り面白き世に成集め人の益ありて綴り
記す一書呂利氏の世に成集り

同 快談

三冊

同 世歴の以見聞きりるもの事或は怒
る一紙しるを 右國の御前にてゆかす
たるを之とらる

秘傳世寶袋

三冊

此書ハ州木の生衣被服色食物料理
番の撰り發病まゝ諸記まゝ常人か
り可き秘傳妙方二百十條の諸家の
秘傳を記し一平生讀免て我人た
りたり忽ち人の師とらるの法を以て

和國智惠競

二冊

般若心經繪抄

一冊

阿弥陀經繪抄

一冊

右の西經ハ子達女中方ても讀ませ
本之より書を付繪抄ひて其書
已りやまゝして講釈あるありて
此經も法法入るありて利益を蒙り
一免師匠なくして此經の極意を知り
むるの成り

役行者靈驗記

二冊

此書ハ役行者神變大菩薩降臨誕生
一代の行法を悉く記し其書
の本をみるもの多し其利益を蒙
るの成り

民家育草

三冊

此書ハ民家平生の身と成り家成り
さきか人を仕人等々を記し其書
の書物傳を以て書を以て其書
らるるなり

目ノ六

神仙秘事睫毛

二冊

和國寺のふれ草

二冊

同 續

二冊

此書ハ在無りたる事秘傳秘事を著
或ハ一枚の紙をてのりしりみんと
成るを以て秘傳秘傳を以て
をけりのを印さし他り出りありしを
より大豆の油なまぬて人の眼をさし
術をあらはれ去をさしと忽ち出来未
有の出なり

養賢須知

一冊

此書ハ此のつらさかひをさし
蜀山人著

南畝帖

一冊

此書ハ山人代の狂奇詠文の佳他と集り

鷹養草

一冊

心學心得草

二冊

此書ハ心學を元として家業を著し
明交の信を以て實業を著し
心學教の成り

教訓我守

小本 一冊

此書ハ子傳先生の教訓して家業を著し
孝の道と云ふを著し
江州藤樹先生輯

いさめ草

二冊

此書ハ聖賢の訓言の仁義礼智信の五常の道
を都て記し其書
之書を著し其書を以て
の成り

戴恩記

四冊

此書ハ多岐の事記し其書
千の恩の事記し其書
らるるなり

芭蕉翁俳諧四部録 二冊
此書ハ俳士文章の龜鑑なり

芭蕉翁廿五ヶ条解 一冊

宗因俳諧發句集 一冊

俳諧世説 一冊

俳諧十六篇 一冊

同一枚起請 一冊

同 六家集 六冊

一夜四歌仙 二冊
燕村樗良 几董嵐山

樗良文集全 同句集 全

俳諧玉藻集 一冊
燕村宗匠輯 小本

同新明題集 五冊
此去ハ四季恋雜神仙佛名ニ至まで抑りしこと
在ハの形をとり集めて著たるなり

武田三代記 二冊
此去ハ信虎信玄勝頼三代の事ニ委しく著るなり

源平盛衰記圖繪 六冊

五經集註 五冊

同半紙本 五冊

同 頭書 五冊

史記評林 八尾版 二十五冊

圓機活法 大本 二十冊

貝原先生著 日本歳時記 四冊

此唐のほくならひて我が國の年中の事
上天子より下民に及ぶまで委しく著る
なり

大正十一年四月廿一日

